

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		環境園芸学科／子ども教育学科／国際教養学科		
科目名称	博物館展示論						授業形態		講義・演習	
科目コード	710104	単位数	2単位	配当学年		実務経験教員		○	アクティブ ラーニング	
担当教員名	米澤 英昭、松田 佳奈、中嶋 愛								ICT活用	
授業概要	博物館での展示の目的、展示の形態と種類、展示の手法・技術、展示の運営について、博物館の実情を通して学習します。本学習を通して、博物館展示における基礎的知識、企画力、情報発信力を身につけることを目指します。									
関連する科目	「博物館教育論」「博物館実習」「博物館資料論」「生涯学習概論」									
授業の進め方 と方法	この授業では、博物館学芸員として勤務する者が、画像等を使用しながら講義を行います。また都城市の登録博物館「都城島津邸」を見学し、展示手法をハード及びソフト両面から学びます。カリキュラムの中で、実際に使用するキャプションやかいせつぶん、イベント企画や広報原稿を作成します。これによって、博物館運営及び展示企画運営に対する企画力や判断力を養う機会とします。各講義は担当教官3名が分担して行います。									
授業計画 【第1回】	博物館活動とは（都城島津邸の活動理念から）									
授業計画 【第2回】	展示の原則・理念・種類と学芸員の業務									
授業計画 【第3回】	展示企画の立案（展示ストーリーと配置・デザイン）・展示史料の選定（種類・性質の確認等）									
授業計画 【第4回】	企画立案演習1（展示ストーリーの作成）									
授業計画 【第5回】	企画立案演習2（展示史料の選定）									
授業計画 【第6回】	展示室の条件（空調・ケースの構造・施設の条件・照明）									
授業計画 【第7回】	博物館展示の実際1（都城島津伝承館収蔵庫の見学）									
授業計画 【第8回】	博物館展示の実際2（都城島津伝承館の展示見学）									
授業計画 【第9回】	史料の保存と修理									
授業計画 【第10回】	特別展示・企画展示の実際（都城島津伝承館特別展・企画展を題材に）									

授業計画 【第11回】	展示解説の方法
授業計画 【第12回】	企画立案演習3（展示解説書の作成）
授業計画 【第13回】	広報活動（PR活動・デジタルアーカイブ公開など）
授業計画 【第14回】	企画立案演習4（展示キャプションの作成）
授業計画 【第15回】	まとめ（テスト）
授業の到達目標	博物館の運営方針や展示方法について学び、企画立案や原稿作成ができるようになる事を目的とする。 文化財取扱いに関する規定や注意点を理解し、文化財保存や活用について考察できるようになる。
学位授与の方針 （DP）との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-（1）／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-（2）
授業時間外学習【予習】	時間外学習指示はないため、自主的学習を個人の裁量において行うことが望ましい。 例）美術館や博物館を見学し、施設の状況や雰囲気を理解する事
授業時間外学習【復習】	時間外学習はないため、自主的学習を個人の裁量において行うことが望ましい。 例）配布レジュメを熟読し、講義中のメモ等をまとめる事
課題に対する フィードバック	質問や疑問に対する応答、書籍や事例等の紹介
評価方法・基準	筆記試験、演習成果及び受講状況
テキスト	毎回、講師が作成したレジュメを配布します。
参考書	日本展示学会出版事業委員会『展示論―博物館の展示をつくる―』雄山閣出版、2010 黒沢浩『博物館展示論』講談社、2014 地方史研究協議会編『歴史資料の保存と地方史研究』岩田書院、2009
備考	